

終戦80年

戦跡記念碑をたどる - 4



クランジ海岸の戦い

BATTLE AT KRANJI BEACH

2025年12月11日 史蹟史料部

戦跡記念碑 No.2 クランジ海岸の戦い

BATTLE AT KRANJI BEACH

設置場所 : 11 Kranji Way, Singapore 739426

第4回目は、クランジ貯水池公園に建てられた、クランジ海岸の戦いの戦跡記念碑をご紹介します。



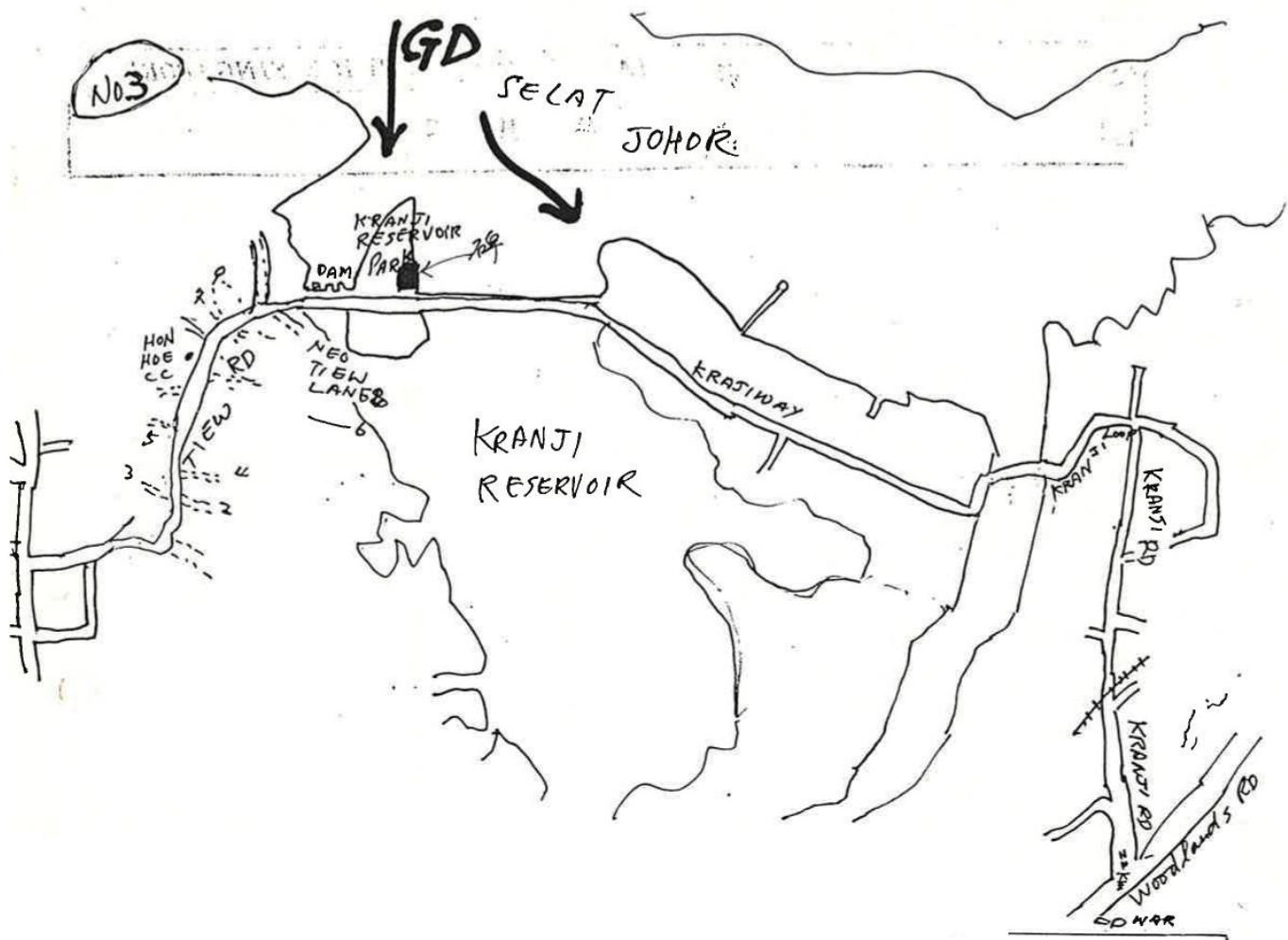
クランジ貯水池公園 B に建立された戦跡記念

クランジ海岸は、オーストラリア軍第22旅団と日本軍近衛師団の間で行われたシンガポール北西部防衛戦の戦場の一つでした。オーストラリア軍第22旅団の管轄区域には、ダルフォース（様々な階層から集まった4,000人の中国人義勇兵で構成）という現地部隊が含まれ、スンゲイ・クランジ川河口の西岸を防衛していました。一方、川の東岸はオーストラリア軍第27旅団第2/26大隊が防衛していました。

1942年2月9日の夜、日本軍近衛師団はジョホール海峡を渡り、第2/26大隊の陣地への侵入を試みました。しかし、激しい抵抗に遭遇し、前進は阻まれました。

スンゲイ・マンダイ・ケチル付近のガソリンタンクから油が漏れ出し、炎上しました。燃え盛る炎は海峡とクランジ海岸線にまで広がり、侵攻軍にさらなる損害を与えました。

甚大な損害にパニックに陥った近衛連隊司令官、西村少将は部隊の撤退を望みましたが、オーストラリア軍第27旅団司令官が不可解な決断で沿岸部から部隊を撤退させたため、日本軍は最終的にクランジからコースウェイに至る橋頭堡を築くことができました。



佐々木賢一さん手書きの地図

記念碑はクランジ貯水池公園Bの中に建てられています。ワニが見られることで人気のスンゲイブロウ湿地保護区の近くです。公園の駐車場内にバス停があるため、公共バスで訪れることができます。



公園内にも、たまにワニが上がって来るようですので、訪問される際はご注意を。



この公園があるクランジウェイからはジョホールバルをよく見渡すことができ、対岸にはマレーのハリマオと呼ばれた谷豊がマラリアで鬪病していた陸軍第三病院（現サルタナアミナ病院）があります。



陸軍第三病院（現サルタナアミナ病院）



クランジ海岸（出典：National Heritage Board）